

平成 27 年度入社式について

平成 27 年 4 月 1 日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、平成 27 年 4 月 1 日（水）10 時から、国立研究所において、下記の通り「平成 27 年度入社式」を行いましたのでお知らせいたします。

入社式では、経営幹部立ち会いのもと、鉄道総研理事長 熊谷則道 から新規採用者 17 名一人一人に辞令が手渡されました。引き続き、理事長から採用予定者へ訓示が行われました。

理事長訓示要旨

鉄道総研に入社されたことを、心からお祝い申し上げます。今日、皆さんを迎えられることを心待ちにしておりました。同時に、皆さんが社会人として踏み出す最初の日となりました。社会に船出する緊張感と新しい環境への意気込みが重なったような気持ちが皆さんの顔に表れています。鉄道総研はフレッシュで、活力あるみなさんに大いに期待しています。

また、本日、鉄道総研は実質的な活動を始めて 29 年目に入りました。本年 1 月には活動の志や方向性を示すビジョン、RISING「革新的な技術を創出し、鉄道の発展と豊かな社会の実現に貢献いたします」を策定しました。私たち鉄道総研の職員は研究開発活動を中心にして、鉄道および社会の発展の役に立つことを理念としたということを外に向けて宣言したことになります。

社会の価値観やニーズがおおきく変化する時代に、交通体系の一角を担う鉄道も、より良く変わっていくことが必要です。このために、次の点に力を入れています。安全の維持を最優先に、最高の品質の研究開発成果を、鉄道事業者、メーカー等の方々に提供すること、および、これらの方々の信頼を得る努力をすること、です。長い期間の成果の蓄積が信頼を得ています。これをさらに継続することです。

今日、みなさんは鉄道総研のメンバーに加わりました。社会人とは、社会に貢献する人を意味していません。これまで、家族に、学校に、先生に、友人に支えられてきました。本日からみなさん方が意欲を持



写真 新入社員に訓示を述べる鉄道総研理事長 熊谷則道

って社会に貢献するのだ、ということ肝に銘じてください。

そこで、みなさんに強く期待すること、3点についてお話しします。

第一に、六か月前の内定式の日みなさんにお話をしたうちの一つ、「研究開発が社会にどのように役に立つか常に意識すること」を強く意識してください。「役に立つ」ということがキーワードであり、JR会社を始めとする鉄道事業者や社会に役に立つ成果を提供することが当研究所の使命です。

第二に、ライフワークとなる技術分野を見つけてください、急ぐことはありませんが、常に意識することです。ライフワークは、未来志向であること、目標を高く持つことが大切です。

第三に、鉄道の現場主義に徹することです。すなわち、鉄道の課題は営業列車が走行する鉄道現場で生じており、従って、研究開発の課題も鉄道現場に存在しているということです。そのために鉄道現場を有する鉄道事業者と密接な関係を保つことが必要です。

鉄道で仕事を行うという皆さんの「情熱」をさらに大きくして、鉄道をさらによくしようと「熱意」に変えていってください。情熱と熱意は、いろいろな課題に、難題に、果敢にチャレンジするエネルギーになります。このような情熱を持ち続けるために、健康に留意されること、多くの刺激を受けるよう外部の人との交流を忘れないこと、同時に、仕事を楽しんでいただくことを期待しています。

鉄道から社会にイノベーションを起こしていくよう、皆さんの新鮮な創造する力の発揮とチャレンジを期待しています。



写真 辞令を手渡す鉄道総研理事長 熊谷則道